

進路だより

H25 12月発行 第3号

木枯らしの冷たさが身にしみる季節になりましたが、皆様、お変わりございませんか。
今回は、高等部の進路学習について紹介したいと思います。



現場実習



本校の高等部では年間で、1年生は2日間、2年生は3日間を2回、3年生は5日間を3回の実習を基本として取り組んでいます。実習中は普段見れないような新しい一面を見せてくれる生徒や、実習先の従業員のようになりきって、黙々と取り組む様子も見られます。実習を終えた生徒は、自信が付き、充実した様子で帰ってきてくれます。ここで実習中の様子を一部分ですが、写真で紹介したいと思います。



アプローチ（福祉の店）
（魚のラップかけ）



いなほ作業所
（パンの袋詰め）



エコ工房四季
（ペットボトル分別）



第2 なぎの木園ホープ
（ハーネス端子切り落とし）



第2 なぎの木園ステップ
（計画・話し合い）



オークワ（フードコート）
（食器洗浄）



進路学習（先輩の話を聞く会）



高等部では11月7日（木）2つのグループに分かれて進路学習を行いました。

1つのグループでは22年度本校卒業生Aコープランティス勤務の平野勝さんに来ていただき、職場の様子や働くために大切なことなどをお話いただきました。在校生から生活・仕事・余暇活動等について質疑応答形式でお答えしていただきました。平野さんが気さくに話をしてくれたことや、生徒達にも歳が近い先輩ということもあり、興味津々で話を聞いていました。生徒からは「進路先はどうやって決めましたか？」「卒業までにしておかなければならない大切なことはありますか？」「携帯電話の料金は自分で払っていますか？」等を質問し、聞き取った内容をメモをしていました。



もう一つのグループでは、作業所等の作業内容の紹介や、実際に作業所で行う作業を模擬体験したり、3年生による現場実習の報告などを行いました。模擬体験では、お菓子の袋詰めやシール貼りなど分担を決め黙々と作業に取り組む様子が見られました。

高等部の進路学習では、事業所見学でスーパーマーケットやケアホームに行き、実際に見ることで、貴重な経験を積んでいます。今後の予定は高3による現場実習報告会、実習の事前学習、事後学習等各学年により取り組めます。